

就職試験 ジャーナル

第44巻 臨増2号
2023年1月23日発行

特集

筆記試験の傾向と対策

～就職模擬試験・テスト・補習教材活用プラン～

採用試験の概要について

●筆記試験

民間企業の採用筆記試験（学科試験）は、高校生としての知識・教養や基本的な常識が身についているかを判定しようとするものなので、問題のレベルはそれ程高くはない。中学を中心に、小学

校高学年から高1までの基礎レベルがほとんどである。出題内容は、国語、英語、数学、社会など、学校の基本的な授業科目に関する基礎的学力を見るものを中心とする。職種によっては、理科や商業、工業系などの専門的な知識も試される。

どのような職種に就くにしても、国語的素養は必要であるため、筆記試験において最も多く出題

資料1 ●出題傾向

教科	よく出る分野	備考
国語	①漢字力 - 漢字の読み書き ②語い力 - 類義語、対義語、故事成語・ことわざ、慣用句など ③文章読解力 ④文学常識	・漢字の読み書きがもっとも多く、読みは特別な読み方（土産など）も出題される。 ・故事成語・ことわざ、熟語などは、穴埋め形式あるいは意味を問う出題形式が多い。
英語	①語い力 - 単語の意味、スペリング、同意語、反意語など ②文法の知識 - 前置詞、接続詞、比較級、関係代名詞など ③表現力 - 簡単な和訳・英訳、イディオム、日常会話の表現など	・単語、文法・英作文とも高校1年程度までの基礎的な英語力が試される。 ・不定詞、動名詞、前置詞など、文法の知識を問う問題は、文の中の空所を埋める形式が多い。
数学	①計算力 - 整数・小数・分数の加減乗除、因数分解など ②数量関係 - 割合、時間と速度と距離、食塩水の濃度など ③方程式・不等式 ④図形 - 面積・体積、平行線と角、三平方の定理など	・整数・小数・分数など小学校高学年のものから中学3年程度までの基礎的な知識を問うものが多い。 ・基本的な計算力が試され、二次方程式や応用問題は比較的少ない。
社会	①政治 - 日本国憲法の基本原理、内閣・裁判所、衆議院と参議院のしくみと権限、地方議会のしくみと住民の権利、略語と正式名称など ②経済 - 労働三法、金融機関のしくみ、金融政策・インフレーション・為替・租税の種類、社会保障制度など ③地理 - 県庁所在地、首都名、気候、資源、特産品など ④歴史 - 歴史上の重要事項・年代・関係の深い人物など	・社会の中では、政治に関する出題の比率が大きい。 ・日本国憲法の基本原理は、三原則・三権分立・国民の三大義務・基本的人権などについてよく出題される。 ・日本経済の大きな問題となる「円高」、「円安」の意味など、社会で話題になっているものについては特に勉強しておくこと。
一般常識	①時事常識 - 政治・経済、科学、環境など、話題の事柄 ②社会常識 - 生活・文化での常識事項	・通貨単位、国際組織などの略語と正式名称、日本三景などの名数問題、選歴などの通過儀礼に関する出題がよく見られる。
SPI能力検査	①言語分野 - 反対の意味の語、二語の関係、文章理解など ②非言語分野 - 小数・分数の計算、四則の混合算、連立方程式、割合・比、料金計算、損益算、速さ・時間・距離、年齢算、集合、推論、順列、組合せ、確率など	・独特な形式の問題が、短い時間の中で多く出題される。一問一問は中学から高校前半レベルであるため、国語、数学の基礎事項を復習し、基礎学力を身につけること。 ・傾向に即した「SPI」能力検査対策用のテストや問題集の活用が効果的である。

されているのは「国語」問題である。英語も、経済のグローバル化に対応して、採用試験での出題が増えている。

そのほか、教科常識以外の一般常識として、時事的な事柄や生活・文化に関する問題を出题して、社会への関心度や時代感覚を試すものもある。細かい専門的なレベルまでは問われないが、自分を取り巻く世界で主にどのようなことが話題になっているのかはチェックさせておきたい。

●適性検査

学科試験のほかに、高校生の採用においても適性などが問われるケースは少なくない。受検者の適性や能力、性格的な特性を調べ、企業の業務に適した人材を採用し、その後の適切な人材配置、活用に役立てるために実施される。

一言に適性検査といってもさまざまな種類があり、高卒就職者の採用試験では、クレペリン検査(精神作業検査)、一般職業適性検査、SPI(エスピーアイ)、SCOA(スコア)、CUBIC(キュービック)などが実施されている。

なかでも、SPIを実施する企業の割合が多い。SPIは「能力検査」と「性格検査」で構成されている。「能力検査」(言語分野と非言語分野に分かれている)は企業の業務で必要となるスキルの基礎となる能力を、「性格検査」は受検者の考え方や行動パターンを測定する。

教科別の出題傾向と対策

●「国語」問題

①漢字の読み・書きというような漢字力、②類義語、対義語、故事成語・ことわざ、慣用表現などの語い力、③文章読解力、④文学常識と、大きく4つに分類できる。

特に、漢字の読み取り・書き取りの問題が最も多く出題される傾向にある。基礎的レベルの漢字が主だが、読み取りは難読漢字も出題されるので注意したい。特別な読み方をする熟字訓(景色、雪崩など)、動植物名、地名なども気をつけたい。

次に、類義語、対義語、故事成語・ことわざ、慣用表現などが多く出題されている。どれも一般的に知られているものばかりなので、問題集の活用が効果的である。

故事成語・ことわざ、慣用表現などについては、

熟語の穴埋め形式や意味を問う出題形式が一般的である。

敬語の使い方を問う問題も出題されるので、先生や先輩など目上の人たちに使うことばづかいを、日常生活を通じて学ぶよう心がけさせたい。敬語の正しい使い方は、面接や作文試験において、また当然、社会に出てからも必要とされる。

●「英語」問題

①単語の意味やスペリングなどの語い力、②文法の知識、③表現力に分類できる。

単語は、平易なものがほとんどである。日本語化された外来語のスペリングは、本来の意味や用法、発音が変わってしまっているものがあるので気をつけたい。名詞の複数形や形容詞・副詞・動詞の変化形を問う問題もよく見られる。

文法問題は、前置詞や接続詞・関係代名詞などを問うものが比較的多く、大部分は空所を補う形式である。

長文を読んで答える総合問題形式と、1問1答式のスタイルがあり、高校1年程度までの基礎的な英語力が身についているかどうかを試す問題がほとんどである。中学校段階にさかのぼって、単語のスペリングとその意味、文型の基本を復習しておきたい。

●「数学」問題

①計算力、②数量関係、③方程式・不等式、④図形、の大きく4つに分類される。

計算問題が多く見られ、整数・小数・分数の加減乗除の計算、割合・百分率・比の計算、利益率、時間・速度・距離を求める計算などのように、小学校高学年の力で解けるものが少なくない。

ほかに、平方根、一元一次方程式・不等式、連立二元一次方程式、三平方の定理、因数分解なども比較的よく出題される。

小学校高学年から中学校段階の基礎を中心とした基本的な学力を試す問題がほとんどであるため、問題集などで基礎固めを図りたい。

●「社会」問題

「社会」問題の出題範囲は、政治、経済、地理、歴史(日本史・世界史)と広範囲にわたるが、中学校程度の内容で、重点の置きどころも一定しているので対策をたてやすい。

資料2 ● 模擬試験・テスト、補習教材を活用した年間計画例

学年	月	行事等	模擬試験・適性検査等	補習教材等	キャリア教育教材
2 年	4月	進路希望調査①		「わかる！とける！基本の数学」 「ステップアップ一般常識」	高校生のキャリアノート⑩ 「あなたの個性と適性」
	5月	三者面談 進路ガイダンス	職業適性検査	「はじめて学ぶ SPI 入門問題集」 「書く力を身につける 作文ワークブック」	高校生のキャリアノート⑪ 「企業とその仕事を知る」
	7月		SPI 入門テスト（第1回）		高校生のキャリアノート⑫ 「職場 リアル体験」
	8月	インターンシップ 夏期講習			
	10月	進路説明会	就職模擬試験（高2用第1回） 作文添削	「就職試験サポートドリル」 「基礎から学ぶ SPI ベーシック 問題集」	
	12月	進路希望調査② 個人面談			
	1月		SPI 基礎テスト（第1回）	「一般常識&適性検査ベーシック」	
	2月	進路講演会	就職模擬試験（高2用第3回） 作文添削	「これでバッチリ！ガイダンス＋ SPI・一般常識」	高校生のキャリアノート⑰ 「仕事選びのステップ」
3 年	4月	進路希望調査 進路説明会	就職模擬試験（高3用第1回） 作文添削	「就職基礎 Drill」 「一般常識&SPI 対策ワーク」	高校生のキャリアノート⑱ 「自己 PR スキルズ」
	5月	個人面談	SPI 対策テスト（第1回） 就職に向けた性格検査 GET	「自己アピール力をつける 面接 ワークブック」	高校生のキャリアノート⑳ 「『働く』を守る」
	6月	求人票の見方指導 履歴書練習	就職模擬試験（高3用第3回） 作文添削	「実戦レベルで学ぶ SPI 対策 問題集」	高校生のキャリアノート㉑ 「コミュニケーションスキルズ」
	7月	求人票公開（7/1） 三者面談	就職模擬試験（高3用第5回） 作文添削	「実戦力がキチンと身につく 就職精選問題集」 「SPI & 一般常識 10日間集中 ドリル」	
	8月	校内選考 夏期講習 模擬面接			
	9月	応募書類提出（9/5～） 選考・内定開始 （9/16～）		★内定後の学習に★ 「ステップアップ国・数・英」 「ステップアップ国・数・英 Next」	高校生のキャリアノート⑳⑳ 「進路先が決まったら」 「進路先ヘジャストフィット」
	10月～				

※模擬試験・テスト、適性検査、補習教材、キャリア教育教材はすべて実務教育出版発行のものです。

特に政治分野の出題が多く、日本国憲法の基本原理や政治のしくみの基本に関するものがよく見られる。

経済は、金融や財政、物価、貿易に関する知識を試す問題がよく見られる。

地理では、県庁所在地、世界遺産、気候、特産物、資源、地名・国名などについて、記させるものや選ばせるものが多い。

歴史問題では、歴史上の有名な事項・事件・年代・関係の深い人物を問うものがよく出題される。

政治・経済については、中学校で学習した「公民」レベルの問題であり、地理・歴史も中学校レベルのものがほとんどである。

よく出る分野を中心とした、中学校段階の復習

指導が効果的である。

● 「一般常識」問題

教科常識以外に、時事・社会常識に関するものが「一般常識」問題として出題される。

時事常識分野では、政治、経済、自然科学、芸術、スポーツ、文学の世界などで話題になった出来事を押さえておきたい。EU や IMF など、国際機関の略称と正式名称もよく出題される。「時事」は苦手という生徒が多いので、ニュースを見る習慣をつけて、広く社会に目を向けさせたい。面接試験対策としても役立つ。

社会常識としては、三大名園などの名数問題、通過儀礼、祝祭日などが一般教養として試される

傾向にある。

常識を身につけることは、就職試験のためだけでなく、社会に出てからも必要な教養である。高校生のうちから自分を取り巻く社会への関心を持たせるようにしたい。

●「SPI」能力検査対策

前述のように、能力検査は言語分野と非言語分野に分かれている。前者は国語的な分野で、ことばに関する知識や文章読解能力を問う。後者は、算数・数学的な分野および論理的思考の分野で、計算能力や表・グラフの解釈、推論などの処理能力を測定する。

一つひとつの問題は高校1年生までの国語や算数・数学の知識を使って解ける問題だが、制限時間の割に問題数が多く、学校の授業や試験ではあまりなじみのない独特の設問形式の問題も含まれている。また、知識量だけでなく判断力・応用力も試されるため、事前準備が重要となる。

成果を上げるためのコツは、国語や算数・数学の基礎をしっかりと押さえたうえでたくさんの問題を解いて慣れること。演習を積み重ねることで、

出題形式を理解して解答の要領をつかめ、短い時間で正確に問題を解き進める力を身につけることができる。

就職希望者への年間指導計画例

●「模擬試験・テスト+問題集」が効果的

試験の傾向に即して構成されている模擬試験・テストを柱として、朝自習や補習で問題集などの補習教材を組み合わせることで、効率的な指導が実現でき、生徒の基礎学力を着実に高めていくことができる。3ページに弊社の模擬試験・テスト、補習教材を活用した年間計画例を掲載した(資料2)。

模擬試験・テストは、制限時間内に問題を解くという緊張感と、試験で要求される解答スピードを体験できるので、回数を重ねることで試験慣れすることができる。また、試験後に返却される各種成績資料により、現在の実力と弱点分野を把握し、実力を伸ばすための克服すべき課題が見えてくる。さらに、学科をまたいだ校内推薦の基準として、成績表に示されている判定・序列を参考にしている学校もある。



今号の
イチオシ教材

SPI 能力検査対策にお役立ていただける模擬テストをご紹介します。
付録教材「ハンドブック」がリニューアルし、さらに充実しました。

<p>高校用 SPI 入門テスト 受験料●1,000円(税込) 「解きやすさ」を重視した出題で 能力検査対策の手始めに最適。</p>	<p>高校用 SPI 基礎テスト 受験料●1,000円(税込) 頻出分野の基礎問題で構成。 実戦演習前の基礎力チェックに。</p>	<p>高校用 SPI 対策テスト 受験料●1,050円(税込) 本試験と同形式のテストで 本番さながらの受験が可能。</p>
--	---	--

付録補習教材「ハンドブック」リニューアルポイント

- ・「CUBIC」「SCOA」など、就職試験でよく課される「SPI」以外の適性検査の情報を追加。
- ・就職活動に必要な事柄をコンパクトにまとめた「就職試験ガイド」ページを新設。
- ・「練習問題」ページをプラスし、解法を着実に身につけるための演習問題をボリュームアップ。

ご検用実物見本を無料進呈！ご請求は Web から▼
www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/

実務教育出版 教育教材事業部
教材NAVI 高校  FAX/03-3354-5098 TEL/03-3355-1801

「就職試験ジャーナル」
バックナンバーについて

本年と前年の『就職試験ジャーナル』のバックナンバーは、小社サイト「教材NAVI」でご覧いただけます。
高等学校のTOPページ (www.jitsumu-kyouzai.com/highschool/) より、「活用情報(モデルプラン・指導情報など)」→「指導情報」をご覧ください。